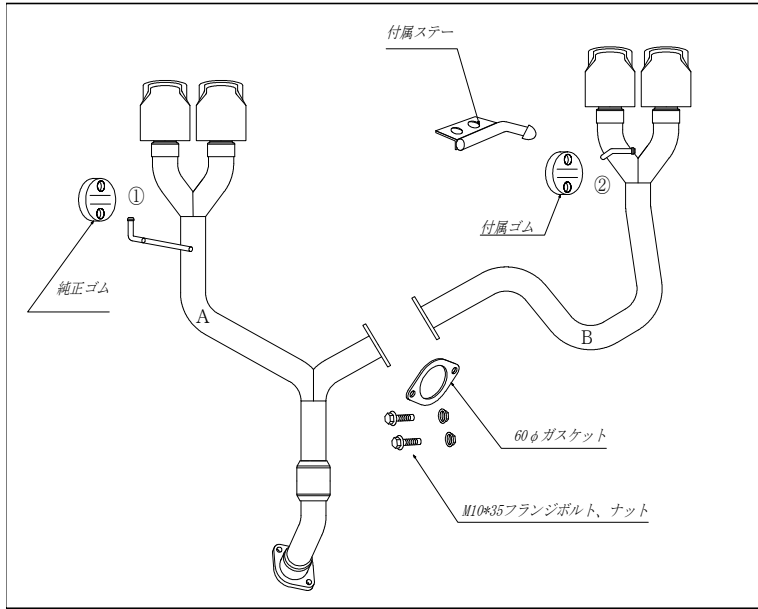


製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式
ASHIKU	AS-T-004CBT	トヨタ ランドクルーザープラド	CBA-TRJ150W 3BA-TRJ150W	H21/9～ R2/8～	2TR-FE



付属ステー装着画像



燃料パイプ遮熱版取り付け画像



スペアタイヤブロック取り付け画像

構成部品及び付属品リスト	
本体(A)	1
本体(B)	1
本取扱説明書	1
ボルト(M10X35)	2
ナット(M10)	2
付属 ゴム	1
付属 遮熱板	1
付属 ブラケット	1
フランジボルト(M8X15)	2
付属 スペアタイヤ ブロック	1
フランジボルト(M8X25)	1
フランジナット(M8)	2
60φガスケット	1
最低必要工具	
メガネレンチ	12mm14mm
ソケットレンチ	12mm14mm
トルクレンチ	

☆ご注意ください。  
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外になります。  
取付される前に必ずご確認ください。

### 組付作業手順

#### 警告!

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。  
【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。  
※ 装着作業は必ず2名以上で行なってください。  
※ 文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- 「本体(A)の仮組付け」  
最初にスペアタイヤを取外して下さい。  
本体(A)の取付けブラケット(1)を純正吊下げラバーステー(1')にしっかりと差し込んで下さい。  
次に、純正の後側フランジと本体のフランジの間に純正リングガスケットを挟んで、本体(A)側から純正ボルトスプリングを再使用して仮締付けして下さい。
- 「本体(B)の仮組付け」  
最初に、純正牽引フックを取外し付属ブラケットに交換し付属ゴムを差し込んで下さい。  
※純正ボルト再使用して下さい。  
**※遮熱板の取付け!**  
左側フロアーの燃料パイプ及び配管を保護する為に必ず取付けして下さい。  
フロア フレームにM8の穴2個を利用し遮熱板をM8X15のボルトで取付けて下さい。  
次に、本体(B)の取付けブラケット(2)を付属ゴム(2')にしっかりと差し込んで下さい。  
次に本体(A)のフランジと本体(B)フランジを60ガスケットを挟み付属M10X35ボルトを通し反対側から、M10ナットで仮締め付けて下さい。
- 「全体の本組付け」  
本体(A)(B)の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。

(付属ボルト類締め付けトルク400～500kgf・cm // 純正ボルトの締め付けトルクはメーカー指定通りにして下さい。)  
テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。  
不具合がある場合は最初から締め直して下さい。  
クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。  
最後に触媒の遮熱板等を外している場合は元通りにして下さい。  
(純正部品の締め付けトルクはメーカー指定通りにして下さい。)

#### ※スペアタイヤ取付け

スペアタイヤを取付する前に付属タイヤブロックを車体側のタイヤ受け皿にM8ボルト、ナットで取付けして下さい。  
M8ナットは、ダブルナットで取付けて下さい。脱落防止の為に。  
最後にスペアタイヤをブロックに密着するまで巻き上げ、吊下げて下さい。

#### 4.「装着状態の確認」

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。  
エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。  
運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。  
異常があれば、最初から装着をやり直してください。  
《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》  
以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

#### お願い!

- ※ 装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。
- ※ マフラー本体は、1人で持上げると危険です。必ず2名以上で作業してください。